



こくふっこ

令和5年度

R5. 6. 19

上越市立国府小学校

「気づき 考え 実行する」

校長 笹川 隆

「すごい！素晴らしいねー！！」

私は、その子の近くに行って声を掛けました。

6月初旬に行われた、5年生の妙高自然体験教室。食事は活動班ごとに食堂で食べます。食事が終わってみんなが席を立つ中、ある子どもが、食事が終わった後のテーブルを、ふきんで丁寧に拭いていた姿を見て、思わず声をかけたのです。

「係の仕事でやっているのかな？」

「いえ、ここに書いてあったから…」

その子の指し示した先には、小さな貼り紙で「食事後はテーブルを拭いてください」とあり、ふきんが置いてありました。

「よく見つけたね。あなたのボランティアの気持ちは素晴らしいよ！」

周りで見っていた子どもたちも、その後、続々とふきんを手にする姿を見て、私は嬉しくなりました。

国府小学校は、相撲の学校として知られていますが、同時にJRC活動に力を入れている学校としても有名です。JRCとは、「Junior Red Cross」の略であり、青少年赤十字のことです。左がJRCのマークであり、これは本年度のグランドデザインの中心にも配置しています。



実は国府小学校は、昭和48年に、新潟県青少年赤十字指導者協議会の設立当初から、上越地区の事務局校として、以来50年間、上越市・妙高市・糸魚川市の加盟校の中心として、研修会の開催や子どものリーダー性を伸長するためのトレーニングセンターの開催などの役割を担っています。

JRCの目的とは、地域社会や国家・世界のために奉仕し、世界の人々との友好親善の精神を育成していくことであり、標題に示す言葉を態度目標・スローガンとしています。国府小学校ではこれを受けて、定期的にVS活動（ボランティアサービス活動）の時間を設け、子どもたちに奉仕の精神を育むようにしています。

先行きが不透明な現代社会をたくましく生き抜いていくためには、まずは自助の力を身に付けさせることが大切ですが、同時に共助の精神も育てていく必要があります。

前段で紹介したような子どもの行動はまさに、自ら「気づき、考え、実行する」姿であり、共に助け合い、よりよい社会をつくっていくために、とても大切にしていきたい姿です。このような子どもの姿が、さらに増えていくことを期待しています。



楽しい食事の後の出来事でした

< 5・6月の学校教育活動の様子 >

6月7日(水)海岸遠足

夏を思わせる晴天の中、海岸遠足に出かけました。

縦割り班ごとに地域の史跡を巡ったり、海岸でプラスチック拾いをしたりするなどして、遠足を楽しみました。

縦割り班の班長である6年生がしっかりと班の友達をリードして遊びを楽しんだり、みんなでおいしくお弁当を食べたりしました。

高学年の子どもたちは、班のメンバーを気遣いながら安全に遠足ができるよう考えて行動し、低・中学年の子どもたちは、リーダーの指示を聞きながら班全員で協力しながら行動しました。縦割りの活動である「なかよし班」の活動では、異学年どうしの関わりの中で、互いのことをよく知り、よりよい関わり方を身に付けさせたいと考えています。

お弁当や持ち物の準備等、ご協力ありがとうございました。



各学年の活動から

交通安全教室(5月12日)

～歩行訓練をしました～

毎日の登下校で、安全に注意しながら歩いている子どもたちですが、改めて交通ルールを守って登下校できるよう、歩行訓練を行いました。市役所の交通安全指導員の方や保護者の皆様の力をお借りして、正しい歩き方や道路横断の仕方を学びました。

国府小学校の合言葉「あいす」の「い」である、命を守る行動をしっかりと身に付けさせていきます。ご協力いただいた保護者の皆様ありがとうございました。



1年生

自転車教室(6月2日)

「ぶたはしゃべる」

交通安全指導員の方をお招きして、自転車の正しい乗り方について学びました。

自転車の安全な乗り方だけでなく、自分の乗る自転車は安全かどうか点検することも大切と教えていただきました。

点検の合言葉は「ぶたはしゃべる」です。

- ぶ ブレーキ
- た タイヤ
- は 反射材の確認
- しゃ 車体
- べる ベル

ご家庭でも安全な自転車の乗り方についてお子さんとお話してください



3年生